

# eLearning 中国語検定3級

Windows®版 国内特許No.3820421号, 米国特許No.5888071号

## 中国語知識ゼロからのスタートで合格を

中国語の語学力を総合的に確実に高めるためには、中国語の検定試験を目指した学習が最も効果的です。そこで、この中国語TLTソフトでは、中国語知識ゼロから学習を始め、通訳を付けずに何とか中国語でビジネスのスタートがきれる学力とされる「中国語検定3級」において、確実に合格できる学習内容で徹底的に訓練します。TLTソフトを着実に学習していけば、学習終了時には「中国語がわかる」自分に気づくでしょう。

NewtonのTLTソフトは、パソコンによる「習熟管理機能」「完全暗記機能」、それに膨大な学習を超速で進める「ワンタッチ入力システム」、習熟度判定による「合格番号表示」等の仕組みが認められ、国内特許(No.3820421号)及び米国特許(No.5888071号)を取得しました。

### 『合格保証制度』を付けられる理由

TLTソフトでの学習は、まったくの中国語初心者が基礎から学び、わずか1年で中国語検定3級をゆうに突破できる内容です。最初の3ヶ月で必須「1000単語」を一気に、しかも完璧に頭にすりこんでしまいます。次の7ヶ月で文法の各学習単位で「中国語から日本語訳」、「音声を聞いて日本語訳」、「ピンイン(中国語表音ローマ字)から日本語訳」の徹底した訓練を行います。ピンイン演習も身につくまでトレーニングしながら、中国語での作文力も積み上げていきます。

その間、語彙力だけでも3000におよびます。さらに、最後の2ヶ月でヒアリングについて基本的な中国語会話等は十分に聞き取れることはもちろん、3級検定のヒアリングには全問正解できるレベルに達するだけの問題演習と繰り返しトレーニングを実施します。このようにスモールステップで全ての科目に合格番号を表示させられれば、「合格点を超える習熟」を全うした証拠といえます。もちろん、この段階で「3級の本試験には合格」と自信がもてるでしょう。TLTソフトは完全習熟の積み重ねで、合格にアプローチします。

### 『合格保証制度』万一、不合格なら全額返還

eラーニング契約期間内に全科目すべてに「合格保証番号」を表示させ、その全合格番号を専用ホームページから当社へご送信下さい。その後実施される本試験で万が一不合格になられた場合、お支払いになった e-Learning受講会員費を全額返還します。全合格保証番号が表示された方ならば、不合格はあり得ないと考えているからです。(合格保証番号送信フォームのホームページURLは、e-Learning受講開始の際にお知らせします)

### パソコン学習だからできる超速習

TLTソフトでの学習は、すべてパソコンの画面上で行われます。受講者の実行力にもよりますが、TLTソフトでの学習は誰もが熱中してしまいますので、アツという間に時間が過ぎて「勉強」が飽きません。TLTソフトは、これまでに経験したことのないパソコンを使ったリズムカルで超効率、超スピード習熟を可能にしました。

### TLTソフトの『TLT』とは

TLTソフトとは、Testing(自分の実力をチェック)、Learning(知らない項目だけを学習)、Training(覚えるまで繰り返し演習)の頭文字をとったもので、Newton社が、多くの初心者でも容易に、自動的に『完全習熟』させてしまうことを追及して開発した、自動習熟システムソフトの名称です。



※ e-Learning中国語サンプル画面

### —動作環境—

■OS: Windows®XP日本語版が動作するPC/AT互換(DOS/V)機専用 ■CPU: Intel Pentium®(または同等の)プロセッサ300MHz以上 ■メモリ: 256MB以上 ■HDD: 空き容量2GB以上 ■解像度: 解像度1024×768以上、256色以上の表示が可能な機種(65536色以上推奨) ■通信環境: インターネットに接続できる環境(ADSL・光回線などのブロードバンド環境推奨) ■サウンド: Windows®がサポートするサウンドカード、スピーカー(あるいは、ヘッドホンまたはイヤホン) ■ソフトウェア: 音声再生にはWindows®メディアプレーヤー9以上

# 1 スピード習熟を可能にした「ワンタッチ入力システム」

TLTソフトでは、画面に表示される問題の『答』を入力する時に、長い『答』を打ち込むには時間もかかり、大変です。そこでTLTソフトでは、『答』の頭文字を入力すると『答』全体が入力されたとみなす機能を備えています。例えば、『答』が〔家族〕なら、〔KA〕と入れるとその時点で〔家族〕と表示されて、正解表示になります。そして、次の穴埋め、または説明文へと自動的に移行します。このように、頭文字の1文字を入力するだけでコンピュータは○×の判定をしてくれます。これが学習スピードを10倍以上にも上げる『ワンタッチ入力システム』なのです。

# 2 あなたの弱点項目を集中トレーニングする「習熟度管理機能」

最初にTestingでいくつかの問題が出題され、あなたが間違えた問題・弱点を見つけます。Testingでニガテと判断された問題を、Learningで例文・解説と一緒に、しっかりと理解するまで何度も繰り返し学習した後、Trainingで学習した問題が完璧に身についているかを再び確認します。LearningとTrainingを繰り返し、最終的には全てを完全習熟させてしまいます。このようにあなたの学習習熟度を管理するシステムにより、無駄なく着実に勉強ができるのです。

# 3 「忘却曲線応用システム」で100パーセント習熟

繰り返し出題されるといっても、同じ問題が何度も出てくるのではなく、出題形式や出題内容は少しずつ変化します。できたはずの問題が、しばらくしてまた出題されることもあります。これは、完全に覚えたと思っても、時間が経過したり、次から次へと新たな知識を吸収していくうちに、その記憶が希薄になり次第に忘れていくという有名な『忘却曲線』を応用したシステムで、TLTソフトではこのシステムにより、最後にはしっかり『頭にスリ込ませて』しまいます。

## 合格への学習計画

スモールステップで1項目ずつ完全習熟すると、各单元ごとに『合格印』が表示されます。初心者での総学習時間は標準470時間です。個人差によりますが320時間～600時間程度で合格点に達する習熟学習ができます。

例)【標準470時間の学習計画】 ◆1日2時間学習…8ヶ月弱(235日) ◆1日3時間学習…5ヶ月弱(157日)

※学習項目は、バージョンより多少変わる場合がございます。

<b>【第1回 単語】</b> レベルA 単語・例文(総語数500)	<b>【第7回 文法】</b> 介詞(1)／介詞(2)／文章の書き方、電話の会話／助詞“的”“地”の用法／動作の数量
<b>【第2回 単語】</b> レベルB 単語・例文(総語数500)	<b>【第8回 文法】</b> 疑問詞の用法／動詞客語文、動詞・形容詞の重ね型／方向を示す複合動詞／結果を示す複合動詞／練習問題1～3
<b>【第3回 文法】</b> 母音／子音／声調／中国語はどういう言語か／数と量詞／月・曜日・時刻	<b>【第9回 文法】</b> 助動詞(1)／助動詞(2)／複合動詞の可能、不可能形／連動文／兼語文
<b>【第4回 文法】</b> 不定の数やものをさすことば／人称代詞と名詞句／判断文(1)／判断文(2)	<b>【第10回 文法】</b> 使役・受身／補語文／比較(1)／比較(2)／副詞
<b>【第5回 文法】</b> 形容詞を中心とする文／所有・存在を表す文(1)／所有・存在を表す文(2)／存在を表す文／動詞を述語とする文(1)／動詞を述語とする文(2)	<b>【第11回 文法】</b> 接続詞(1)／接続詞(2)／強調・反語／二重否定・疑問代詞の呼応表現／手紙の書き方／練習問題4～6
<b>【第6回 文法】</b> あいさつ／助詞“了”の用法／助詞“过”の用法／助詞“着”の用法／会話表現1～2	

お問い合わせ先